

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【八本松、吉川地区へのヒアリング】

- ・ 日 時 : 2023 年 4 月 24 日
- ・ 参 加 者 : 合計 15 名（学生 8 名、地域 4 名、協働支援員 2 名、市職員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 八本松町内の 3 地区（八本松、吉川、原）の自治協議会が協働で取り組める企画を学生協働支援隊が支援するという本案件に際して、八本松地域センターにて八本松地区と吉川地区へのヒアリングを行った。地域の方から八本松と吉川の歴史や史跡、資源、名所などについてお話を伺った。その中で、地域に対する思いとして、「地域住民が八本松町内のことにもっと関心を持ってほしい」「地域への新鮮な視点がほしい」「今後も続いていくことをしたい」などの意見も伺った。
原地区のヒアリング内容とも合わせて、今回伺った地域の意向もとに企画内容を検討していく。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



地域の方からお話を伺っている様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【原地区へのヒアリング】

- ・ 日 時 : 2023 年 4 月 24 日
- ・ 参 加 者 : 合計 14 名（学生 8 名、地域 3 名、協働支援員 2 名、市職員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 原地域センターにて、原住民自治協議会の方から、原地区へのヒアリングを行った。

地域の方から原地区の歴史、資源、行事などについてお話を伺った。原地区には八本松町全体に関する歴史的資源や文化があることや、原地区内のこれまでの取り組みの内容について伺うことができた。

八本松地区、吉川地区のヒアリング内容とも合わせて、今回伺った地域の意向をもとに企画内容を検討していく。

- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



原地区の方からお話を伺っている様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【八本松、原地区での現地視察】

- ・ 日 時 : 2023 年 5 月 20 日
- ・ 参 加 者 : 合計 13 名（学生 6 名、地域 5 名、協働支援員 1 名、市職員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 地域の方に同行していただきながら、八本松町内にある歴史資源を現地視察した。

今回は、八本松地区の曾場ヶ城山、原地区の小倉神社を中心に視察した。曾場ヶ城山は陰しくもあったが、そのなかに長い歴史を持つ八十八石仏や曾場ヶ城跡があった。小倉神社には地域に伝わる菖蒲前伝説という物語に関連する墓石や資料などが残されていた。どちらの場所においても、地域の方の解説を聞きながら実物を視察し、史跡がどのような経緯で作られ、継承されてきたのかをより深く知ることができた。

- ・ 活動の様子：写真の通り。



石仏についての解説を受ける様子



曾場ヶ城山頂上での昼休憩と団欒

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【吉川、原地区での現地視察】

- ・ 日 時 : 2023 年 5 月 27 日
- ・ 参 加 者 : 合計 9 名（学生 2 名、地域 7 名、協働支援員 1 名、市職員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 地域の方に同行していただきながら、八本松町内にある歴史資源を現地視察した。

今回は、吉川地区ではまちに残る史跡と槌山城、原地区では前回に引き続いて小倉神社を中心に視察した。吉川地区では、町に残る屋敷跡から槌山城までを歩きながら、この地区が発展してきたストーリーラインを聞きながら史跡を視察した。原地区では、前回伺いきれなかった小倉神社にまつわるお話や原地区の歴史について、より詳しく知ることができた。今回の視察では、各地区の歴史を深く知ると同時に、八本松地区や西条地区といった他地域との歴史的つながりについても伺い、より俯瞰的な知識を得ることができた。

以降、これまでのヒアリング、現地視察で伺った内容をもとに、3 地域協働で実施する企画を検討していく。

- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



槌山城登山の様子

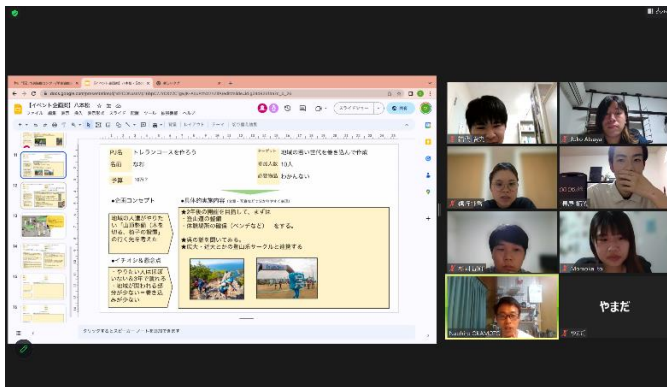


小倉神社で解説を受けている様子

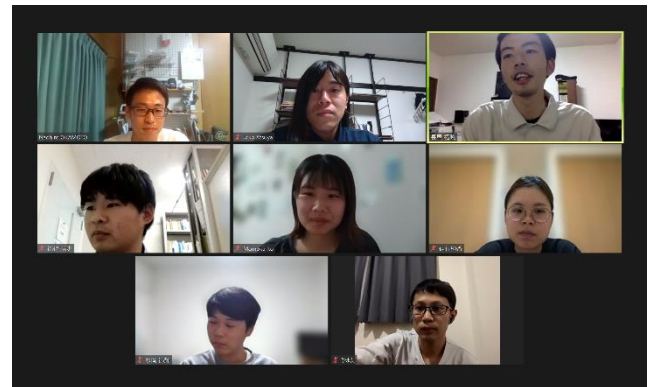
学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【企画提案に向けた話し合い】

- ・ 日 時 : 2023 年 6 月 2 日
- ・ 参 加 者 : 合計 8 名（学生 6 名、協働支援員 2 名）
- ・ 活 動 内 容 : Zoom にて、これまでのヒアリング・現地視察をもとに学生協働支援隊メンバーそれぞれが考案した企画案を共有した。山歩きクイズ大会、石仏人形づくり、神社を利用した肝試しなど、計 7 つの案が共有された。次に、これらの案を地域にどのように提案するかについての話し合いを行った。その結果、ここで企画を選定することはせず、7 つの案すべてを地域へ提案することになった。企画の選定は、6 月提案後、地域からの反応をもとに行うこととした。
- ・ 活動の様子：写真の通り。



考えた企画を発表する



どのように提案するかを話し合う

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【地域への企画提案とヒアリング】

- ・ 日 時 : 2023 年 6 月 26 日
- ・ 参 加 者 : 合計 16 名（学生 6 名、地域 7 名、協働支援員 2 名、市職員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 原地域センターにて、八本松、原、吉川地区の 3 地域へ向けた企画案の提案を行った。企画案は、6 月 2 日学生間で共有した 7 つの案を発表した。地域からは、特定の案がよいというコメントは得られなかったものの、本案件で実施する企画の条件として、「3 地域が協働して取り組めるもの」「地域外ではなく、地域内の住民の交流を目的としたイベント」「こどもを主な対象としたイベント」などを前提にすることを確認した。またその他にも、まずは特定の地域に絞ってイベントを開催することや、史跡に新しい要素を加えたイベントをすることなど、数多くの意見をいただいた。

今後、これらの地域の声をもとに企画を練り直し、7 月 7 日に再提案をすることになった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。

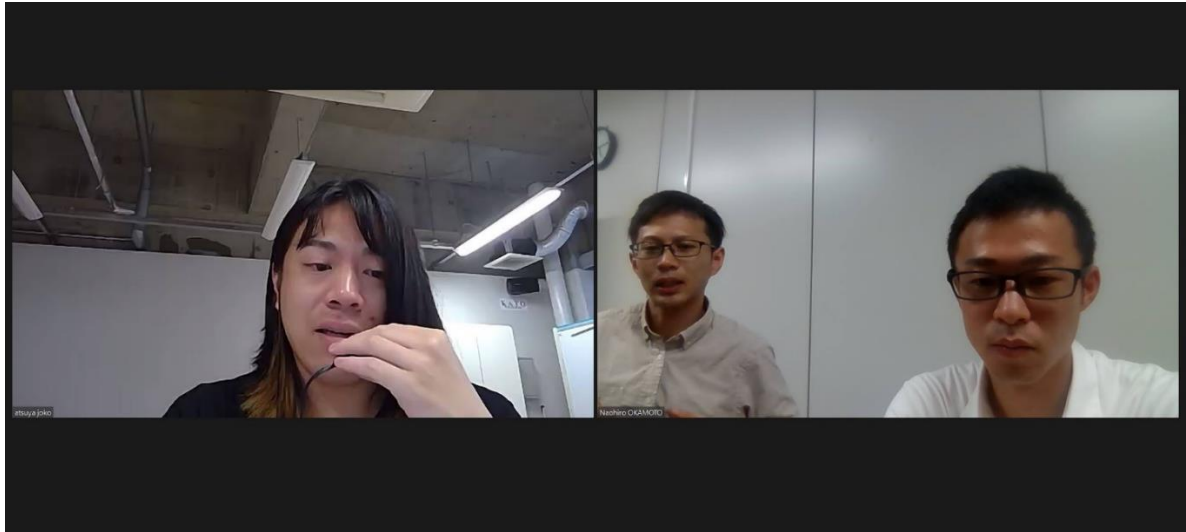


企画案を地域へ向けて発表する

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【企画再提案に向けた話し合い】

- ・ 日 時 : 2023 年 6 月 27 日
- ・ 参 加 者 : 合計 3 名 (学生 1 名、協働支援員 2 名)
- ・ 活 動 内 容 : Zoom にて、これまでのヒアリングや前回の企画提案で得られた意見と照らし合わせながら、企画内容のブラッシュアップ・変更を行った。話し合いのなかで、地域からの要望である「地域の史跡を用いること」「3 地域の連携をめざすこと」の 2 つの目的を同時に達成しようとする、どちらの目的も薄れるのではないかと、という見解にまとまった。そのため、今回は「3 地域の連携をめざすこと」の一つのみを軸とする方向に路線変更し、再提案に向けて新しい案を考案することになった。再提案する企画内容は、自然に交流が生まれる手段としての段ボールハウスを用いたものにすることに決定した。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



話し合いの様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【地域への企画再提案】

- ・ 日 時 : 2023 年 7 月 7 日
- ・ 参 加 者 : 合計 10 名（学生 1 名、地域 8 名、協働支援員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 八本松地域センターにて、八本松、原、吉川地区の 3 地域へ向けた企画の再提案を行った。初回の企画提案後に目的を「3 地域の連携をめざすこと」の一つに焦点をあて、段ボールハウスを用いた新しい企画に至った経緯についての説明を行った。具体的な企画内容についての提案も行った。この場の話し合いにおいては、地域からの同意が得られたため、この方向で企画を進めることとなった。

しかし後日、地域から「やはり企画内容は『地域の史跡（とくに曾場ヶ城山）を用いること』を重視してほしい」との相談があったため、段ボールハウスの企画を取り下げた。地域からの要望をもとに再度企画を練り直し、8 月 30 日に企画の再々提案を行うことになった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



企画の再提案を行う様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【企画再々提案に向けた話し合い】

- ・ 日 時 : 2023 年 8 月 17 日
- ・ 参 加 者 : 合計 9 名（学生 7 名、協働支援員 2 名）
- ・ 活 動 内 容 : Zoom にて、再々提案する企画についての話し合いを行った。話し合いのなかでは、再々提案に至った経緯の説明と、各自が新たに考えた企画案の発表・選定を行った。発表された企画案は、フォトロゲイニング、謎解きお遍路体験、山歩きクイズ大会など、計 5 つであった。また、その後の話し合いによって、地域に再々提案する案をフォトロゲイニングと謎解きお遍路体験の 2 つに決定した。
- ・ 活動の様子 : 写真無し。

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【地域への企画再々提案】

- ・ 日 時 : 2023 年 8 月 30 日
- ・ 参 加 者 : 合計 16 名（学生 4 名、地域 11 名、協働支援員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 原地域センターにて、地域へ向けた企画再々提案を実施した。前回の話し合いで決めたフォトロゲイニングの案と謎解きお遍路体験の案を発表し、その案について地域から承認をいただいた。企画内容の選定については、フォトロゲイニングと謎解きお遍路体験のうちどちらか一方のみを行う案と、双方を組み合わせ一つにする案が提案され、その決定は学生協働支援隊の話し合いをもって決定することとなった。以降、学生協働支援隊がこの企画内容を持ち帰って詳細に検討し、9 月 11 日にその案を地域へ共有することとなった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



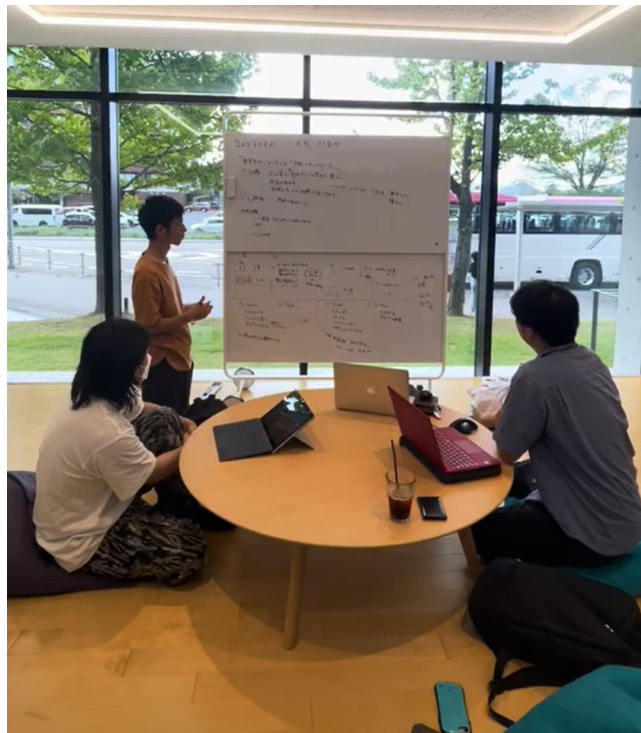
地域へ企画の再々提案をする様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【企画内容の最終選定とブラッシュアップ会】

- ・ 日 時 : 2023 年 8 月 31 日
- ・ 参 加 者 : 合計 4 名（学生 3 名、協働支援員 1 名）
- ・ 活 動 内 容 : 広島大学東広島キャンパス内にて、企画内容の最終選定とブラッシュアップのための話し合いを行った。地域への企画再々提案にて、フォトログイニングと謎解きお遍路体験のうちどちらか一方のみを行う案と、双方を組み合わせ一つにする案が出ていたが、この話し合いのなかで、後者（フォトログイニングと謎解きお遍路体験を組み合わせる案）を実施することに決定した。組み合わせ方としては、フォトログイニングをメインコンテンツに設定し、追加コンテンツとしてお遍路体験とクイズを取り入れることとなった。

次回は、この案を地域と共有し、この企画がどの程度実施可能か、地域が何を担えるのか等を具体的に調整する。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



企画内容について具体的に検討する様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【地域との企画ブラッシュアップミーティング（ゲーム内容詳細案の提示）】

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 12 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 8 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : 学生が考えた内容を地域へ説明した。フォトロゲイニング+お遍路体験+クイズの企画について、了解を得た。コースの設定やクイズの作成、賞品など実施に向けての具体的な役割分担や今後やるべきことが出てきた。イベント実施日は 12 月 2 日から 9 日となった。また、山の事前下見が 9 月 19 日となった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



地域の方との打合せ風景

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【会場散策】

- ・ 日 時 : 2023 年 9 月 19 日
- ・ 参 加 者 : 合計 6 名（学生 1 名、地域 5 名）
- ・ 活 動 内 容 : イベント当日に向けて、事前に曾場ヶ城山跡に登った。その後、八本松地域センターで、打合せを行い登山道の確認や参加者数をどうするか話し合った。登山中には事務局と話すこともあり、学生協働支援隊との仲が深まったと感じられる。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



出発前の朝の会



休憩中の様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【打合せ】

- ・ 日 時 : 2023 年 10 月 24 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 1 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : 当日に向けて必要な資料の作成やクイズの作成状況を確認した。また、参加者募集を始めたが人数が集まっていないことを伝え、学校を通した再度連絡して貰うこととなった。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



打合せの様子



打合せの様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【図書館ミーティング】

- ・ 日 時 : 2023 年 10 月 30 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 8 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : 学生メンバーで当日に向けての役割分担を考えた。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



打合せの様子

【地域とのリハ前の打合せ】

- ・ 日 時 : 2023 年 11 月 17 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 1 名、地域 4 名）
- ・ 活 動 内 容 : 11 月 25 日に行うリハーサルに向けて、何を確認すべきかの打合せを行った。リハーサルの流れや地域側が何を準備するか、など確認した。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



打合せの様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【リハーサル】

- ・ 日 時 : 2023 年 11 月 25 日
- ・ 参 加 者 : 合計 14 名 (学生 5 名、地域 9 名)
- ・ 活 動 内 容 : 12 月 9 日の本番に向けて、学生と地域の方でリハーサルを行った。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



登山の様子



振り返りの様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【本番】

- ・ 日 時 : 2023 年 12 月 9 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名 (学生 7 名、地域 25 名)
- ・ 活 動 内 容 : 八本松・原・吉川の小学生 15 名を対象に、八本松ふしぎ発見～歴史の謎を追いかける～を実施した。4 グループに分かれ、それぞれチームカラーの法被を着て、お遍路の格好をした状態で、曾場ヶ城山跡に登った。道中ではお題と同じ写真を撮影しつつ、謎を解くゲームだった。得点の高い順番に賞品が決まり、優勝チームには地域の特産品が贈られた。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



開始前の準備



スタッフへの事前説明



開会式



準備運動

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書



出発前の集合写真



クイズを探している様子



登山風景



納め札に願い事を書く



下山後の様子



昼食の様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書



スタッフ（賀茂高校生）



昼食を作ったスタッフ



クイズの答え合わせ



賞品



賞品受け渡しの様子



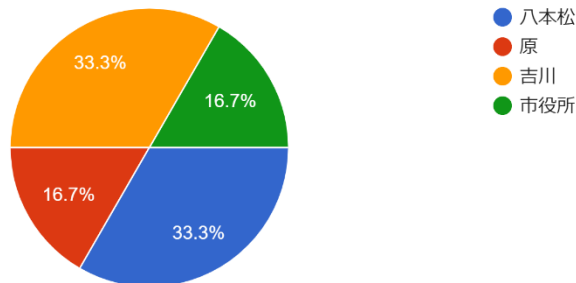
集合写真

その他の写真は以下 <https://photos.app.goo.gl/aRbhKrZ4h7hK1eQ57>

八本松ふしぎ発見 運営者アンケート

地域名

6 件の回答



12/9 まで（事前準備・打合せ等）

良かったことは何ですか

- ・ 何度も会って協議したことで相互理解が深まった。
- ・ 3 自治協、学生、市民協働、出張所間で、十分な話し合いが行われたこと
- ・ 3 自治協議会の共通連携が出来た結果のイベントであった事。
- ・ 準備品、スタッフの配置等が明確に出来た
- ・ 人で不足を補いながらそれぞれの地域の特徴(吉川 特産品を提供、原 木々の伐採など山に慣れている、八本松 人口の多さを活かし参加者募る、炊き出し人員手配)を活かしイベントを開催できた事。
- ・ なんだかんだ連携取りながら進められた。

課題点を挙げるとすれば何がありますか

- ・ 役割分担。
- ・ 参加者募集の読みがあまかったこと
- ・ 継続的なものになるか形を、変えながらも曾場ヶ城跡登山は実施したい。
- ・ 参加者募集方法に工夫が必要
- ・ 学生協働支援隊の負担を軽減出来たら(チラシ作成などのいわゆる雑用)彼らの強みを生かせる。これだけのイベントを企画できるのであれば、得られた成功体験の大きさが将来地域に還元されると思う(住んでよかったと思ってもらえる、定住の可能性も増える)
- ・ 参加者募集

当日について

- ・ 各スタッフの役割分担等の理解が不足していた。事前の準備不足。
- ・ しいてあげるとすれば、当日朝のミーティング、終わりのミーティングで、自己紹介と感想のコメント(代表でも可)で、さらに住民間コンタクトが取れたと思う

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

- ・チーム毎の課題目標があっても良いのでは？ チームの競技は課題が共通であったが、チームが同じ場所においても課題が異なれば追いついて来ても、他のチーム課題を聞いても点数とは関係ない独自性のあるチーム行動が出来る。
- ・継続して行くのであれば、費用等の予算化が必要。個人の善意のみでは、限界がある。
- ・安全面の配慮(子ども用の軍手をプレゼント。山中でしてもらう・など)をもう少し出来れば良かった。

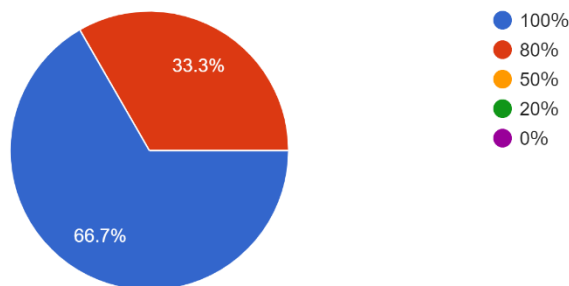
良かったことは何ですか

- ・事故無く無事に終わったこと。自治協連携が出来たこと。子どもや地域住民に地域の魅力(史跡)を知って貰えたこと等。
- ・役割分担に基づいて、それぞれが任務を行えたこと
- ・子供たちと、地域の大人達もこうした機会がないと山登りをする体験が出来ないので、曾場ヶ城跡に行けた事が良かった。
- ・参加者が、ケガも無く大変楽しそうにしてくれてた事。
- ・弁当がおいしかった。
- ・3自治協連携も子どもの交流も出来、1番は地域の方のたくさんの協力を得られた事。次に繋げられそう。

今回の目的について

イベントを通して、目的はどの程度達成できたと思いますか

6件の回答



その理由を教えてください

- ・地域住民の協力は120%以上だと思ったが、子どもの参加が不十分であったため。
- ・目的を押さえて、各取り組みを行い、多くの方が笑顔で終えられたこと
- ・八本松町に貴重な文化財産がある事を知ってもらえた。
- ・3自治協の、スタッフ間の交流が出来た。
- ・イベントのみであれば100点。今後の伸びしろを加味して80%

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

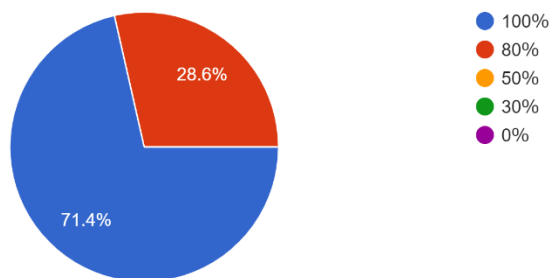
学生協働支援隊・町内連携事業を通して、地域側（ご自身を含む）に残ったものは何ですか

- ・ やれば出来るという成功体験。
- ・ 次の企画への取り掛かり
- ・ 他地域との人脈が拡大する事に意義があります。 広大生も地元では無くても、あの山に登った思い出が残ると信じてます。
- ・ 学生共働支援隊の、存在を知り今後の自治協活動に支援、協力依頼の道筋が出来た。
- ・ 他自治協との顔つなぎ。曾場ヶ城山の道順記憶。
- ・ 支援隊と町内連携が上手くかみ合った。地域協力が得られる事がわかった。

八本松ふしぎ発見 当日スタッフアンケート

今回の目的について

イベントを通して、目的はどの程度達成できたと思いますか
7 件の回答



その理由を教えてください

- ・ 3 自治協合同でまずはやってみてやりきれた。子どもたちも運営側も楽しめた。
- ・ 豚汁もう少し作ればよかった
- ・ 参加人数がもう少し多ければ良かったと思う。
- ・ 連携がすごく出来てた。
- ・ 連携が出来て、子ども達も交流出来た
- ・ 3 自治協の連携が取れてた。
- ・ 連携が出来てたから。

もし、改善点をあげるとすれば、何がありますか

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

- ・子どもたちの衣装が小さかった。高学年用は大きいのが必要。低学年の子のペースが遅いため後ろの組がつかえていた。全体にバランス良く振り分けるか、低学年用のショートカットコースを作るかしたほうが良いかも。
- ・参加者は、500 円払うけど、スタッフは無料でよかったの？
- ・募集方法について、学校、PTA の協力をお願いする。
- ・参加者の確保

良かったことは何ですか

- ・一番は参加した子どもたちが楽しんできた。地域の人たち、大学生の子たちが一体となってイベントを完遂できたこと。
- ・昼食を喜んで食べてくれた
- ・参加してくれた子供達が喜んでくれたこと。協力者も楽しめて、和が広がったこと。
- ・地域の方のお手伝いがすごかった。
- ・3 自治協の連携がすごかった。
- ・地域の方の協力が 3 自治協の連携にも繋がってた。
- ・自分の体力もわかったし、なにより、自治協の連携を目の当たり出来た。

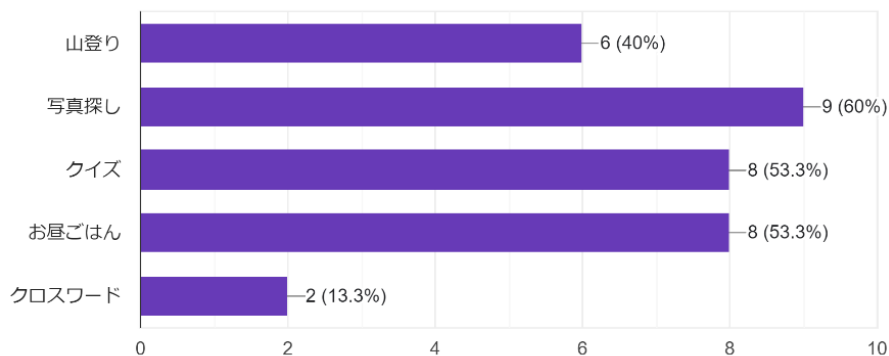
今後について子ども達を対象とした際、どのような活動が求められていると思いますか。

- ・つながりや、思い出を作ること。いずれ大人になったとき、地元に恩返ししたいと思えるようになるといいなあと思います。
- ・もう少し気候の良い時期に早めに募集をかける。昔の、遊びとか。
- ・地域に対する勉強ができ、ゲーム性があるものがいいと思う。

八本松ふしぎ発見 参加者アンケート

今日の楽しかったことは何ですか

15 件の回答



学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

難しかったことは何ですか

- ・山登り 3件
- ・写真を見つけること 8件(特に、死の森は2件)
- ・クロスワードやクイズ 2件

(もしあれば)今日初めて知ったことやビックリしたことは何ですか

●歴史に関すること

- ・お城が小さいのがびっくりした。
- ・こんな歴史があったことにびっくりした。
- ・大内氏が作ったこと。
- ・鏡山城があったこと。

山の中にお地蔵さんがいて、どうやってつくるのかなを思いました。

曾場ヶ城は元々お城だったこと。

歴史のことが知れたし、びっくりした。

山にも歴史があった。

●曾場ヶ山に関すること

- ・すべりすぎた。
- ・曾場ヶ城がこんな急な山だったこと。

あったら参加したい行事は何ですか。

- ・クリスマス会。プレゼント交換。今回なようなやつ。昼ごはん付きのイベント。
- ・紙飛行機飛ばし大会。まちのケイドロ。スポーツ。スタンプラリー迷路。わからない。
- ・生き物探し。鏡山城内に登る。お花作り。

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

【地域との振り返り会】

- ・ 日 時 : 2024 年 1 月 24 日
- ・ 参 加 者 : 合計 12 名（学生 7 名、地域 9 名）
- ・ 活 動 内 容 : 12/9 に行った「八本松ふしぎ発見～歴史の謎を追いかける～」を踏まえた振り返りを行った。振り返りから、3 協議会で連携して事業を実施できたことに対する評価があった。一方で、連携している意義や活動に対する P R が不足していたという意見があった。今後に向けて、この活動をいかに継続していくか、また、何をやっていくかという話も出ており、来年度への期待も膨らみながら会を終えた。
- ・ 活動の様子 : 写真の通り。



振り返りの様子



意見を聞いている様子

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

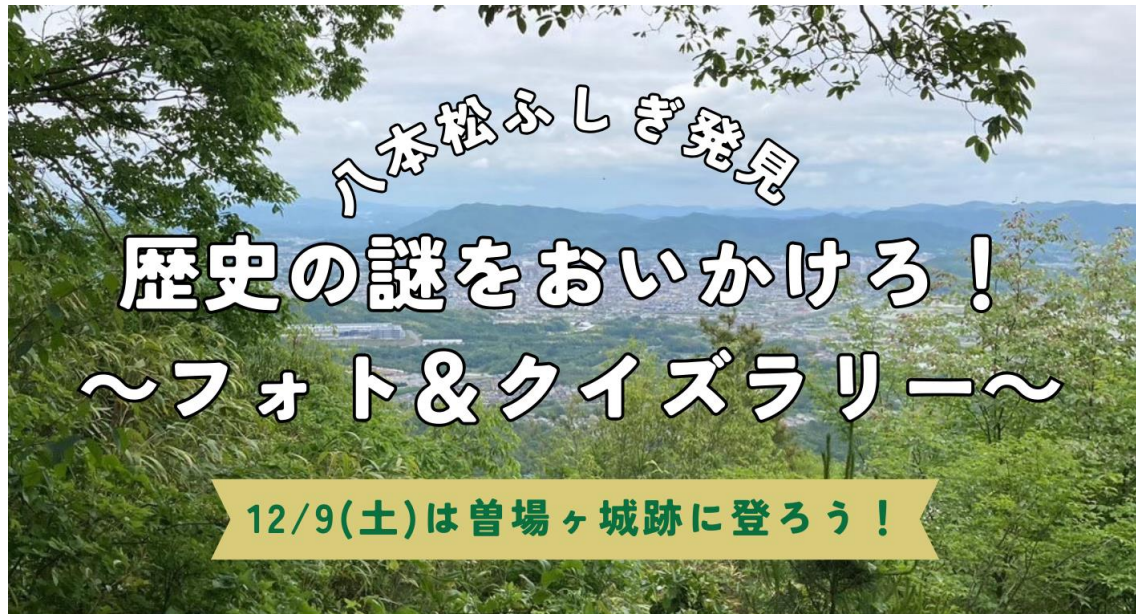
【学生協働支援員の感想】

- ・山登りは疲れたが、子どもたちは楽しそうだった。難易度調整もちょうどよかったのではないかなと思う。行きも帰りも子ども同士で、話をしたり、歌を歌ったりして、終始楽しそうだった。また、運営をしている側としても、子供が少ないこともあって、子供と話しやすかったし、気楽に登山することができた。ただ、かなり時間が長かったため、帰り道では子供たちは早く帰ってご飯を食べたいといった様子だった。
- ・リハーサルでの流れの通りだったため、スムーズに問題なく進めることができてよかった。自分が登ることだけに集中したくなるけど、子供たちに気を配ることに気を付けた(ついてこれているかなど)。大変だったけど、最後に「この班で良かった」とか「楽しかった」とかを直接言ってもらえたのはうれしかった。
- ・フォトゲイニングだけでも楽しんでくれていたため、クロスワードはなくても満足してくれそうだった。一位になりたいという思いを全面的に出して一生懸命楽しそうにフォトログとクロスワードをやっていた姿は、大人になった自分には欠けている部分のように思ってしまった。これまで学校で学習したのか、子供たちはヒントなしでもクロスワードの問題を解いていて、曾場ヶ城山やそれにまつわる知識があることに驚いた。弁当や豚汁の材料、賞品のお米を吉川などの地元産にこだわっていて、イベント全体が八本松に関連していたことがよかった。
- ・子どもとたくさん話せたのが楽しかった。人数が少ないことでよりコミュニケーションが取れた。
- ・ケガやトラブルなく終わることができたことが良かった。山登りに関しては、子どもたちが楽しそうにしている、子ども同士初対面であっても徐々に話すようになってきていた。工夫したことは、初めの山登りまでの待ち時間で自己紹介をすることと、ルールを理解していなさそうな子どもに改めてルールの説明をした。地域の方が道中にいてくれたので、とても安心感があつた。地域全体でイベントを盛り立てているような感じがした。
- ・お昼ご飯部隊は、地域の方の進行がとてもはやく、私自身は酢の物用の大根を少し切っただけで終わってしまった。調理する中で、地域の方同士の間関係が垣間見れる瞬間があつたが、総じて参加者や周りの方への配慮が見られうまく進行できていた。
- ・全体を通して、「子ども」が介在することと地域への影響の大きさを感じた。「子どもは地域のコーディネーターだ」という考えを目の当たりにした。堅物おじいちゃん達も、自然と地域の子供達の事を考えているし、柔らかい笑顔が印象的だった。
- ・アンケートの分析や、地域の方の歴史の話を一緒に聞いて感じたのは、意外と「子ども達も歴史に興味を持ってくれること」、「山も登ることができる(体力的に)」ということである。それは、チームとして世代の近い大学生と地域の方がそばにいて適宜サポートしていた、関わりが多かったことも多いと思う。結果的に子ども達にとっても、地域にとっても満足度高かったのではないかなと思う。

学生協働支援隊 八本松地域 活動報告書

- ・山登りを通じて地域の方同士や私自身も仲良くすることができたので、このようなイベントは地域の交流にもつながるのだと感じた。頂上での役割については、2チーム、2チームで来ることを想定して準備していたが、4チームが一気に頂上に集まり、少し焦る場面もあったが、チームリーダー中心に頂上でやることを把握していたので大きな混乱にならず、役割を全うすることができた。また、頂上での子供達の様子を見るにフォトログイニングもクロスワードも楽しく解いていたのでプロジェクトに関わられて良かったなと感じた。
- ・最終準備や当日の様子は、地域がこどもたちのことを考えて準備を進めており、きめ細やかな配慮もされていて、良い雰囲気だった。イベント中は地域側もそれなりに楽しんでくれたのではないかなと思う。準備段階での抽象的で実感のなかった目的が、終盤に「申し込んで楽しみにしているこどもたちのために」という手触りのある目的に自然とシフトしたことが、このイベントを持ち直す要因になったのではないかなと思った。
- ・『喜んでくれる人のため』という状況は、抽象的な大義名分よりも、地域を動かす重要なきっかけになると思った。本人に強い切迫感や動機がなくても、相手が見えていれば、ポジティブなエネルギーが生まれ地域の活力になると感じた。

【イベント広報チラシ】



イベントの注目ポイント

1



お遍路さんと一緒に
フォトリゲイニング
と謎解きに挑戦！！

2

地域の人や他地区の
小学生、大学生との
交流の機会！！

3



お昼ごはんは
地域の方がふるまう
おにぎりと豚汁！！

4

優勝チーム全員に
地域特産の高級米
ミルキークイーン
2kgをプレゼント

スケジュール

- 8:30～ 受付開始
- 9:00～ 開会式（ルール説明、チーム分け等）
- 9:30～ 第一陣出発
- 9:45～ 第二陣出発
2時間半程で地域センターに順次到着。
- 12:40～ お昼休憩タイム
- 13:20～ 答え合わせと表彰式
- 13:50～ 閉会式

イベント概要

- 日時：2023年12月9日（土）
9:00～14:00 ※8:30受付開始
- 集合場所：八本松地域センター
- 参加費：500円／人
- 対象：原・吉川・八本松小学校に通う児童
※原則、一人で登れる児童のみ。
※付き添いで大学生と地域の方がいます
- 定員：30人程度
- お申込みは右記のQRコードから。
- 不明点はお近くの協議会にお問い合わせください。



主催：八本松町内住民自治協議会連携会議

企画運営：学生協働支援隊

【表彰状】

表 彰 状

殿

あなたは本イベント、八本松ふしぎ発見
～曾場ヶ城跡に登ろう～において頭書の
通り優秀な成績を修めました
よってここに表彰します

令和5年12月9日

八本松町内住民自治協議会連携会議

会長 土久岡 章 治